

すべては
より良い、より安全で、より早い
デンタルケアを提供するために――

Axeos、Orthophosシリーズは
撮影から診断・治療まで
シームレスなワークフローを提供します

Your Daily Practice
診療ワークフロー

- 01 X線室へのアクセス
- 02 撮影準備
- 03 撮影
- 04 画像診断
- 05 治療計画、治療
- 06 再診
- 07 アフターサポート

フラッグシップモデル
アクセオス



オーソフォスシリーズ最上位機種
オーソフォス SL



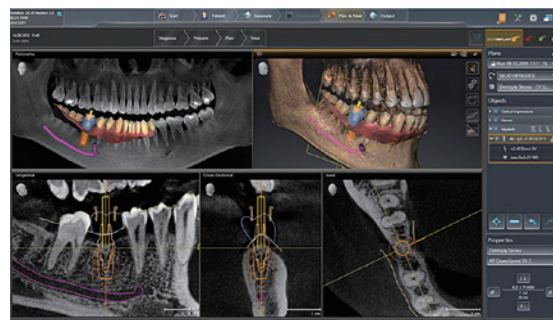
2D/3D オールラウンダーモデル
オーソフォス S



インプラントプランニングソフト「SICATインプラント」

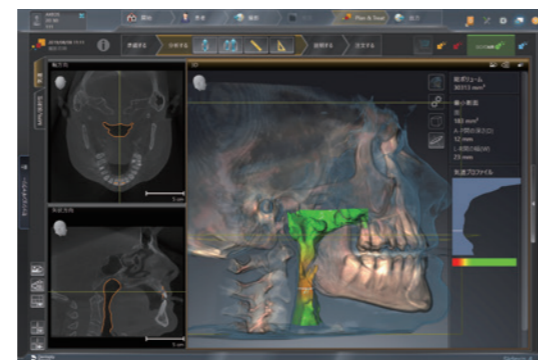
●院内製作サージカルガイド
インプラントプランニングから
ガイドの製作まで
一連の作業を院内で完結

●外注製作サージカルガイド
補綴物の設計から
サージカルガイドの発注までを
すべてデジタルデータのみで完結



気道解析ソフト「SICATエアア」

「SICATエアア」は、気道治療へ活用可能なデジタルワーク
フローを実現する、気道解析ソフト。
閉塞性睡眠時無呼吸症（OSA）治療、矯正治療、筋機能療法、
全顎的包括治療等にも活用可能な3Dソリューションです。



※改良のため仕様および外観を予告なく変更する場合があります。

販売名：オーソフォス S 一般的名称：アーム型X線CT診断装置 認証番号：301AKBZX00077000 管理 特管 設置
販売名：オーソフォス SL 一般的名称：アーム型X線CT診断装置 認証番号：227AABZJ00105000 管理 特管 設置
販売名：オーソフォス XG 3D 一般的名称：アーム型X線CT診断装置 認証番号：222AABZJ00115000 管理 特管 設置
販売名：アクセオス 一般的名称：アーム型X線CT診断装置 認証番号：302AKBZX00062000 管理 特管 設置
販売名：シデキシス4 一般的名称：汎用画像診断装置ワークステーション用プログラム 認証番号：227AABZJ00103000 管理

89292_202203_BG 4401PD

デンツプライシロナ株式会社
www.dentsplysirona.com

Imaging system
User's report

- 01 千葉県 ―― ●医療法人社団力英会 井橋歯科医院 井橋 千香 理事長
- 02 神奈川県 ―― ●新百合ヶ丘南歯科 高山 祐輔 院長
- 03 島根県 ―― ●くるみ歯科医院 多田 聡 院長
- 04 広島県 ―― ●横山歯科医院 横山 隆道 院長



Axeos導入が医院にもたらしたもの

千葉県 医療法人社団力英会 井橋歯科医院 井橋 千香 理事長



動画はこちらから

<https://youtu.be/TBkP89SCZs4>



—医院コンセプトをお聞かせください

マイナス1才、すなわち妊婦さんから患者さんを診ることをコンセプトに未永く口腔内を見守る、そしてそのご家族も診ることで一生のお付き合いができれば嬉しい、と思っています。なので、常に先進の技術と設備を備えることが重要であると考えています。

—CT導入時に不安はありましたか？

最初の稼働日では、スタッフが一番気を使ったと思いますが、実際には半日で軌道に乗りました。患者さん目線では、第一に低被爆モードがあること。特に親御さんへの説明にすぐに納得いただくことができます。また、薄暗い個室に入り患者さんは緊張すると思いますが、七色に光るライト(コスミックライト)が、「先生、この機械がっついいいですねー」「すごい機械を導入されたんですね!」と好評です(笑) そのこと自体、治療に前向きになれる良いきっかけになるのではと思っています。

—クリニック改革としてCT導入が役立ったことは？

「予防を軸に様々な診療ニーズに対応できる」 当院は小児から始まり様々な診療を提供していますが、その信頼に応えるにはCTがもたらしてくれる情報は必須と考えています。患者さんが求める治療を、先進の技術で応える、それこそクリニックのあるべき姿と思っています。



小児歯科におけるCTと気道解析ソフトの活用

島根県 くるみ歯科医院 多田 聡 院長



動画はこちらから

<https://youtu.be/UCRUKBMU3A4>



—「くるみ歯科医院」の名称の由来は？

「来る方の身になって」から「くるみ歯科医院」と名付けました。来る方は患者さん、地域の方、スタッフ、業者さん、全ての方が幸せになれるいいな、と思っています。

—デンツプライシロナCTを選択された理由は？

以前からCTは導入していましたが、デジタル機器は進歩が早いので、その入替として検討を進めました。そして、一番撮影頻度が多いパノラマの画質が綺麗な機種をいくつか候補にしましたが、決め手となったのは気道の解析ソフトです。特に小児の矯正治療においては、そのモチベーション維持に気道解析はとても有用と思います。

—気道解析ソフトを使用した具体的な治療内容とは

小児における矯正治療は、歯並び噛み合わせはもちろんですが、鼻呼吸にすることで全体的なもの、例えばアレルギーやいびきの軽減などの改善が示されています。それをビジュアルで明確に表すことができるのは、気道解析ソフトのお陰ですね。更に言えば、小児は睡眠時無呼吸症の治療対象にはなりにくいのが実情です。実際、小児にCPAPを用いるのはハードルが高く、手術に踏み切るのさらにはさらに抵抗があるでしょう。なので、医科と連携して小児の段階で対処できるというのは、歯科分野の役割ではないでしょうか。



エビデンスとしてのCTの活用法

神奈川県 新百合ヶ丘南歯科 高山 祐輔 院長



動画はこちらから

<https://youtu.be/EUdUqWweY04>



—歯科における自由診療のメリットは？

予防中心として、患者さんの一(イチ)口腔内単位を診ることで。インプラントや審美といった特定の治療ではなく、一般的な総合診療を行っています。そのためには、質の高い機器を揃える必要がありました。

—CTを選ぶ基準は？

画質や撮影範囲は重要ですが、歯根の見え方、根管の形態の見え方を重要視して決めました。CTの精度が一番求められるのは根管治療ではないでしょうか。根の断面の小ささや狭窄の有無の確認など、CTの精度が治療の質に左右されるのではと思います。

—デンツプライシロナのCTを使ってみて

パノラマ、セファロ、CT、全てを1台でこなせる複合機、というのは大きなメリットです。患者さんに説明する際に使うソフトウェアの使いやすさは抜群ですね。時系列にグラフィカルにお見せできるのは、患者さんの理解にも繋がります。使う側の私にとっても、マニュアルは特に読まず使える、ユーザーフレンドリーな使い勝手です。

—CTが院内で撮影できるメリットとは

診断の「当たり」は付けることができても、確信をもって対処することができるのはCTが院内にあるからです。それは言葉ではなくCT画像があるから、とも言えます。下顎8番の抜歯は、患者さん術者共に、安心という確信が得られます。



CT入替で変化した活用法

広島県 横山歯科医院 横山 隆道 院長



動画はこちらから

<https://youtu.be/bpBtCdBIOis>



—デンツプライシロナのレントゲン機器について

「デンタルはアナログで撮影」という先生方のお気持ちはとてもよく分かります。しかしデジタルも日々進化しています。このAxeosを使用してみると、驚いたのは「現像」が早いことです。そして照射範囲が広いので日本人の顎骨であれば顎関節まで診ることができます。ほとんどの測定点をカバーしているので複数回撮影する必要はありません。

—CTの活用方法

三次元的に「下歯槽神経・上顎洞」と「歯」の位置関係を把握することが基本ですが、例えば顎関節症においてはセファロや断層写真などに値する情報が1度の撮影で全て得ることができます。アーチファクトの少なさも情報量の多さに繋がっています。

—CTの発展性・今後の期待

歯科にはCTは普及しつつありますが、たとえば耳鼻科領域ではCTの導入はほとんどありません。上顎洞炎などでは、先に当院での撮影で見つけることもあります。他の診療領域との連携はデジタル技術がその橋渡しをしてくれる時代がもうすぐ来るでしょうね。

—先生方へのメッセージ

低被ばく量と撮影範囲の広さ、この2点は相反する要素ですが、Axeosはこの2点を高い次元でクリアしてくれます。分かりやすい操作性、他の機器との連携、省スペース設置など、迷う要素は見当たりません(笑)

